

P D C A チェックシート (平成 26 年度実績評価)

事業概要						担当局	危機管理室
						担当課	危機管理課
事業名 みんな de Bousai まちづくり推進事業						課長名	三浦 隆宏
						施策番号	
過去の大規模災害では、自助・共助の力を向上させることが「減災」対策を推進する上でも必要不可欠であることが証明されました。また、「北九州市地域防災計画見直し検討会」の中でも、地域コミュニティが持つ防災力＝「地域防災力」の重要性が指摘されました。これらのことから、市民が自ら「命を守りぬく」ことができる自助・共助の力を向上させるとともに、地域防災力の育成及び活性化を推進します。						事業手法 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()	
						コスト 事業費	

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	市民が自ら「命を守りぬく」ことができる自助・共助の力を向上させる必要があります。	見直し内容 みんな de Bousai まちづくり懇話会での議論や、車座集会における市民意見を参考にしながら、小学校区単位でモデル事業を実施します。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価	
目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	市民	市民が自ら「命を守りぬく」ことができる自助・共助の力を向上させるとともに、地域防災力の育成及び活性化を目指します。			
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	地域ぐるみの防災ネットワークを構築した校区数		4 校区	%	
	小学校区単位で地域ぐるみの防災ネットワークを構築した校区数を増やすことが自助・共助の力の向上につながるため指標としました。H26年度～H27年度は、モデル事業として実施します。最終目標は、各区1校区ずつ実施した校区数です。 (最終目標と目標年度)7校区(27年度)				
地域防災の新たな担い手を育成した人数		30 人	%		
	地域防災の新たな担い手を増やすことが自助・共助の力の向上につながるため育成人数を指標としました。 (最終目標と目標年度)60人(27年度)				

活動計画	どうやって目的を達成するか	市民防災会、自治会、消防、警察という従来の地域防災関連団体等に加え、民生委員、PTA、企業、障害者、外国人、大学生等、これまで地域防災に参画する機会の少なかった新たな人、若い人を含めた「地区 Bousai 会議」を開催し、地域ぐるみの防災ネットワークを構築します。また、市内の大学生を対象に、地域で率先して防災活動を行うことができる知識と技能を持つ人材を育成するため、「みんな de Bousai 人材育成プログラム」を実施します。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	地区 Bousai 会議の開催回数		16 回	%	
	地域ぐるみの防災ネットワークを構築ため、「地区 Bousai 会議」の開催回数を指標としました。				
人材育成プログラムの研修回数		2 回	%		
	地域防災の新たな担い手を育成するため、人材育成プログラムの研修回数を指標としました。				

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点